

岩手県内新入社員の職業観と生活観
－平成 27 年新入社員意識調査より－

標記について概要を取りまとめましたので公表いたします。
なお、詳細は機関誌「岩手経済研究」27 年 6 月号に掲載予定です。

<調査要領>

1. 調査時期 平成 27 年 3～4 月
2. 調査対象 岩手県内事業所に勤務（予定含む）する新入社員等
3. 調査方法 当研究所主催の新入社員研修会等における無記名アンケート方式
4. 回答者数 合計 351 人

最終学歴

| | 高校 | 専門学校 | 短大 | 大学 | 大学院 | 総計 |
|----|----|------|----|----|-----|-----|
| 男性 | 55 | 31 | 12 | 87 | 4 | 189 |
| 女性 | 73 | 21 | 28 | 39 | 1 | 162 |

出身地

| | 県央 | 県南 | 沿岸 | 県北 | 県外 | 総計 |
|----|-----|----|----|----|----|-----|
| 男性 | 103 | 43 | 14 | 10 | 19 | 189 |
| 女性 | 78 | 47 | 22 | 5 | 10 | 162 |

盛岡市中ノ橋通一丁目 2 番 16 号
一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕
経営相談部（担当 畠 山）
TEL 019 - 622 - 1212

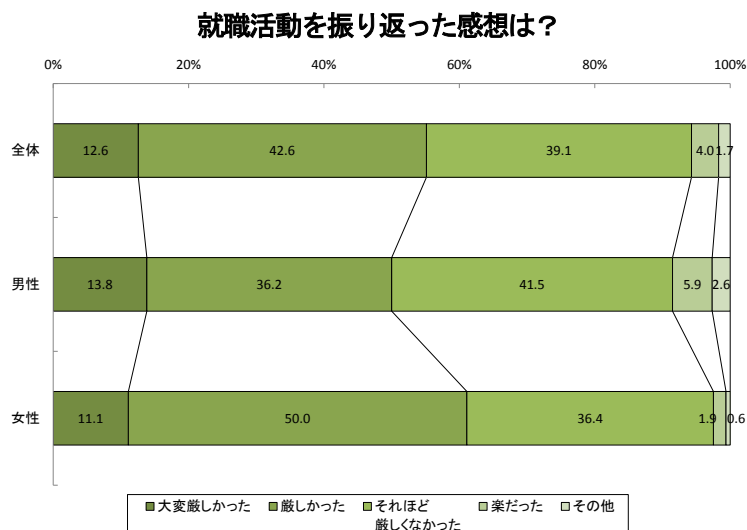
<調査結果の要約>

今年の新入社員意識調査では、恒例の「職業観」と「生活観」についての質問に先立ち、「就職活動を振り返った感想」と「就職先として県内企業を選んだ理由」について調査した。

<就職活動の厳しさは？>

○「就活」の感想は二分

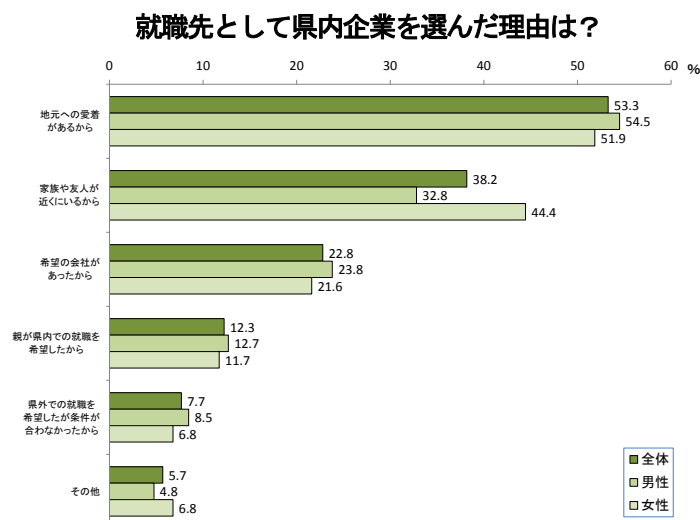
就職活動を振り返った感想では「大変厳しかった」と「厳しかった」の合計が55.2%となり、過半数の新入社員が就職活動に厳しさを感じていた。一方、「それほど厳しくなかった」、「楽だった」との回答も全体で43.1%あり、売手市場ともいわれる「就活」事情を反映し感想は分かれている。



<就職先として県内企業を選んだ理由は？>

○地元への強い愛着

就職先として県内企業を選んだ理由（2つ以内の複数回答）では「地元への愛着があるから」が53.3%、「家族や友人が近くにいるから」が38.2%、「希望の会社があったから」が22.8%となった。地元愛の強さの一方、希望の会社に就職との回答は2割強にとどまり、県内企業の情報発信の強化も必要と考えられる。



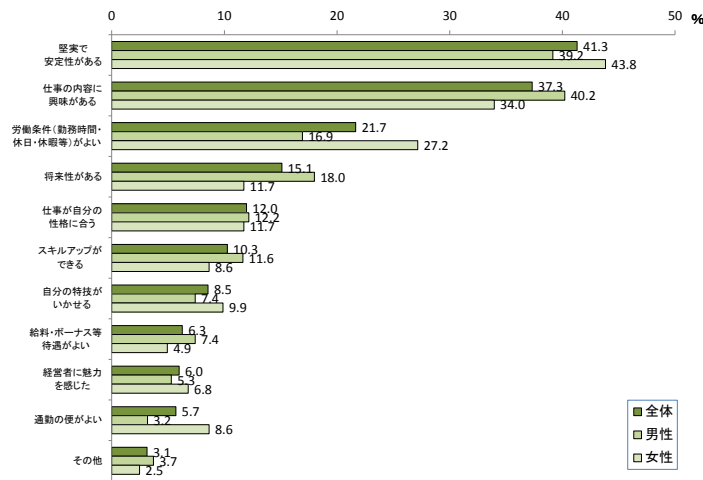
1. 職業観

<勤務先選択の理由>

○堅実性、安定性と仕事の内容を重視

今の勤務先を選んだ理由（2つ以内の複数回答）は、「会社が堅実で安定性がある」が41.3%（前年比7.4ポイント増）、以下、「仕事の内容に興味がある」が37.3%（同0.8ポイント増）、「労働条件（勤務時間・休日・休暇等）がよい」が21.7%（同2.6ポイント増）の順となった。前年同様、会社の堅実性・安定性や仕事の内容を重視する傾向が見受けられる。男性は仕事の内容や将来性などを、女性は堅実性・安定性や労働条件（勤務時間、休日）などを重視する傾向がみられた。

今の勤務先を選んだ理由は？

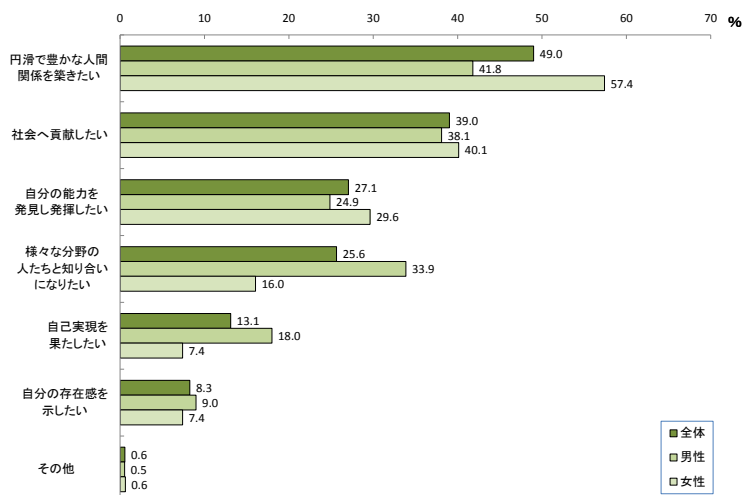


<社会人生活に期待すること>

○豊かな人間関係と社会への貢献

社会人生活に期待すること（2つ以内の複数回答）は、「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が49.0%（前年比2.5ポイント増）と最も高く、次いで「社会へ貢献したい」が39.0%（同4.9ポイント減）、「自分の能力を発見し発揮したい」27.1%（同1.2ポイント減）の順となった。前年から上位に変動はなく男女とも「円滑で豊かな人間関係を築きたい」が最も多いが、男性では「様々な分野の人たちと知り合いになりたい」が前年比7.0ポイント増加と大きく伸びた。

社会人生活に期待することは？

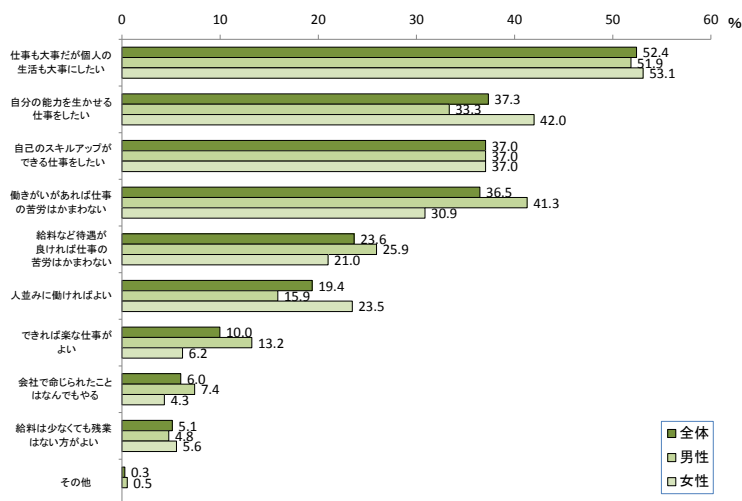


<働くことについての考え方>

○私生活とのバランスと自分の能力発揮

働くことに対する考え方（3つ以内の複数回答）については、「仕事も大事だが個人の生活も大事にしたい」が52.4%（前年比0.2%増）、以下「自分の能力を生かせる仕事をしたい」が37.3%（同5.3%減）、「自己のスキルアップができる仕事をしたい」が37.0%（同7.8%減）となった。前年調査と2位、3位が逆転したものの僅差であり、ほぼ同様の結果となった。男女別では「自分の能力を生かせる仕事をしたい」とする女性の割合が増加した半面、男性では減少し、男女ごとの割合の差が8.7ポイントと大きく広がった。

働くことについてどのように考えますか？

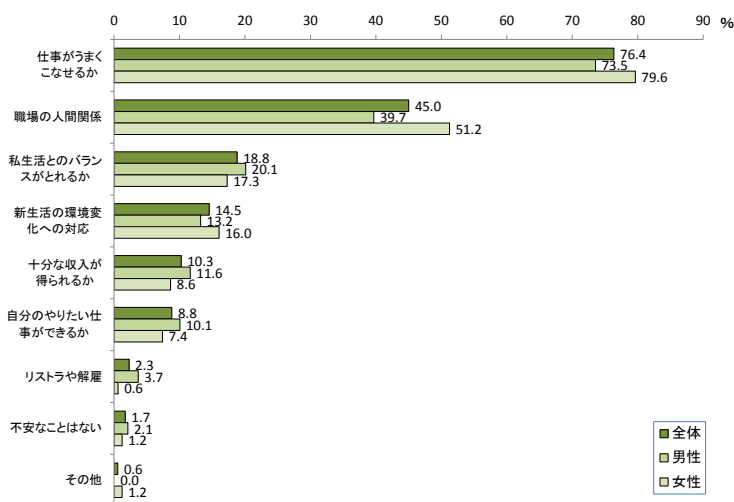


<社会人生活で不安を感じること>

○仕事がこなせるかと人間関係が上位

社会人生活で不安を感じること（2つ以内の複数回答）は、「仕事がうまくこなせるか」が76.4%と最も高く、次いで「職場の人間関係」45.0%、「私生活とのバランス」が18.8%となった。男女ともに上位2項目が抜き出ているが、女性の方が不安を感じている割合が高い。新生活に「良好な人間関係」と「私生活とのバランス」を期待しつつも、同時に不安を抱えていることがうかがえる。

社会人生活で不安を感じることは？

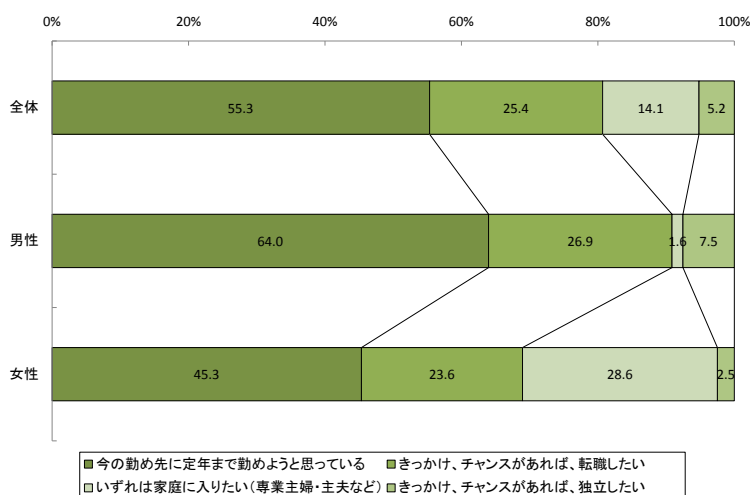


<定年まで今の勤務先で働くか>

○過半数が今の勤務先で定年まで働きたい

定年まで今の勤務先で働きたいと考えるかについては、「今の勤務先に定年まで勤めようと思っている」が55.3%（前年比4.2^{ポイント}増）と過半数を占め、以下「きっかけ、チャンスがあれば転職したい」が25.4%（同0.3^{ポイント}減）、「いずれは家庭に入りたい（専業主婦・主夫など）」が14.1%（同0.1^{ポイント}増）、「きっかけ、チャンスがあれば独立したい」が5.2%（同4.0^{ポイント}減）となった。男女とも定年まで働きたいという割合が増加し、長期安定雇用を望む傾向が強まっている。一方、女性で「いずれは家庭に入りたい」と回答した人は28.6%（同2.4^{ポイント}減）と前年を下回った。

定年まで今の職場で働きますか？



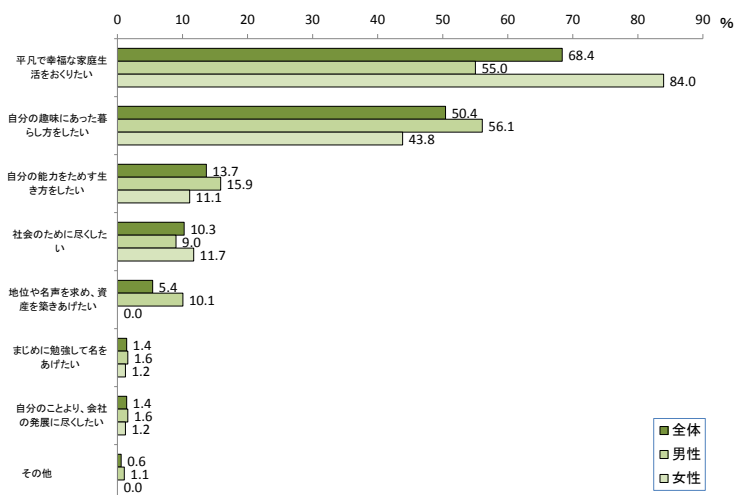
2. 生活観

<理想とする生き方>

○平凡で幸福な家庭と趣味にあった暮らし方

理想の生き方に対する考え方(2つ以内の複数回答)については、「平凡で幸福な家庭生活を送りたい」が68.4%（前年比9.3^{ポイント}増）と増加し、「自分の趣味にあった暮らし方をしたい」の50.4%（同11.3^{ポイント}減）を上回った。男女別では、男性は「自分の趣味に合った暮らし方」が「平凡で幸福な家庭生活」をわずかに上回った。一方、女性では「平凡で幸福な家庭生活」との回答が前年比16.0^{ポイント}と大きく増加し、家庭志向の強まりがうかがえる。

どんな生き方をしたいと思いますか？

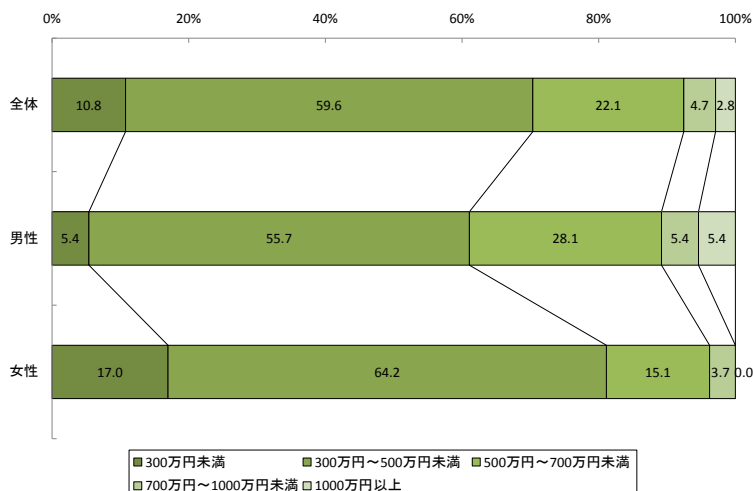


<30歳での理想の年収は>

○300万円～500万円未満が約6割

30歳での理想の年収を尋ねたところ、「300万円～500万円未満」との回答が59.6%と最も多く、次いで「500万円～700万円未満」が22.1%、「300万円未満」が10.8%となった。男女別にみると、「500万円未満」との回答は男性では61.1%であるのに対し、女性では81.2%であり、女性は男性に比べて将来の理想年収が低い。

30歳での理想の年収は？

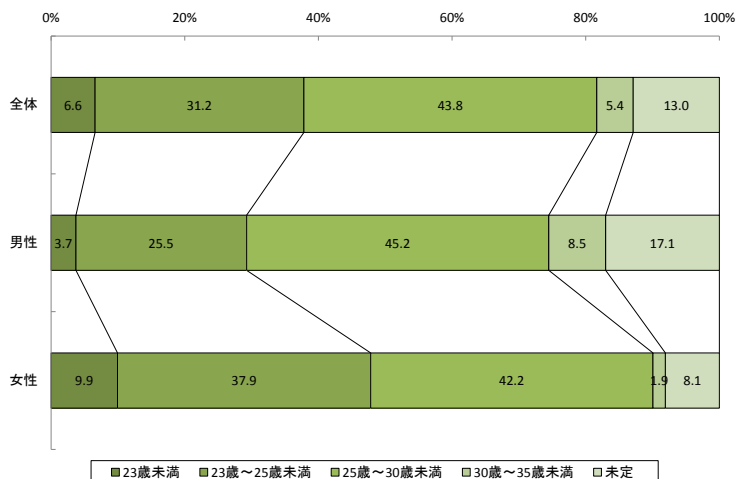


<結婚について>

○結婚希望年齢は若年化

何歳ぐらいで結婚したいかに対し、「25歳～30歳未満」が43.8%（前年比0.7ポイント増）、「23歳～25歳未満」が31.2%（同3.4ポイント増）、23歳未満が6.6%（同3.0ポイント増）となった。30歳前に結婚したいと考える割合が全体の8割強となり、結婚希望年齢は若年化がみられる。

何歳ぐらいで結婚したいと考えていますか？



○女性の75.9%が出産後も仕事を継続したい

女性の回答者に出産後の仕事について尋ねたところ、「ぜひ仕事を続けたい」が21.0%、「環境が整えば続けたい」が54.9%と、女性の75.9%が出産後も仕事の継続を希望している。女性の社会での活躍が一層期待されるなか、女性の働きやすい環境の整備に社会全体がさらに取り組んでいく必要がある。

まとめ

調査結果から、今年の新入社員は、仕事と生活の調和を重視しつつ、仕事を通じて自分の能力を発揮したいという前向きな姿勢を持っていることがわかる。また、円滑な人間関係を築きたい、社会に貢献したいなどの期待と同時に、仕事をこなせるか、職場に溶け込めるかなど不安も抱いている。

社会人の先輩である職場の上司や同僚の方々は、世代間のギャップなどにも配慮しながら、これからの企業、社会を背負って立つ新入社員諸君をぜひ温かく導いていただきたい。

以上